

## 編集後記

今号は、特別展「工芸継承——東北発、日本インダストリアルデザインの原点と現在」の紹介である。地震の影響を受けながらも、当初のスケジュールどおりに開催する運びとなった。表紙の写真は下記にもあるとおり、2016年のリオデジャネイロで開催されたオリンピックでも使用された卓球台で、ここにその脚は高度な技術で製作されているということである。ぜひ展示場の解説とともに、直にご覧いただきたい。今回の展示では、本号特集のタイトルに「用の美」ということばが使われているように、日常的な場面でこれは欲しいというだけでなく、これは使いたいと思う品々が展示されている。もっとも、実際に買った買ったで（そのお金が財布にあるかは言わぬが花）、小生にはもって使えないだろうが。（丹羽典生）

## みんぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

### 維持会員・正会員

『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

### ミュージアム会員

『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。  
(電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



●表紙：リオオリンピックで使用された卓球台「SAN-EI infinity 2016」  
(写真提供：株式会社卓球王国)

## 次号の予告

特集

## 「門付け再考——家を訪ねる 日本の芸能の諸相」(仮)

## 月刊みんぱく 2018年9月号

第42巻第9号通巻第492号 2018年9月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生(編集長) 寺村裕史 三島禎子  
南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一欵 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 毎日新聞社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に  
お願いします。

\*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

### 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

みんぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

みんぱくインスタグラム

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

みんぱくYouTube

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

